

小学校 音楽科学習指導案

庄原市立東小学校 古川 和美

1 日時 2000年10月19日(木)5校時

2 学年 第2学年 30名

3 題材名 「いい音 さがそう」

4 題材について

本校では、昨年度音楽科を中心に一人一人が輝く授業作りについて研究を進めてきた。その結果、児童の学習意欲が高まり、徐々に表現力も高まってきた。さらには、音楽を楽しむ児童も少しずつ増えてきている。しかし、どの児童も輝いたとはいえなかった。

それは、「音を意識して聴く」という音楽の基礎的な力をはぐくむことが十分でなかったためと考える。そのため、多様な音の存在に気づかせることなく、互いが見つけた音によって活動を行ったため、一人一人が音のよさや音から受ける感覚の違いに十分気づくことができなかつたと思われる。

そこで、イヤゲームを取り入れた音遊びの活動を行うことによって、日常何気なく聞いている音を主体的に聴く態度を身につけさせ、聴く楽しさを体感させたい。そして、発見したさまざまな音について、友だちと話し合う中で、お互いの音感覚の違いやよさに気づかせていきたい。さらには、一人一人が発見した音を重ねて音楽を創っていくことで、音を感じ、表現を工夫する感覚や能力を育てていきたいと考え、本題材を設定した。

5 題材の目標

音色の響きの違いに気づいたり、イメージに合った音の出し方を工夫することができるようにする。

音に関心を持ち、きれいな音で演奏することができるようにする。

6 学習指導計画

題材の指導計画による。

本時は、音楽科として行った16時間中の8時間目

7 本時の目標

つくった音の組み合わせ方を工夫して、お話を音で表現する。

8 本時の展開

学 習 活 動	支援（ ）と評価（ ）
<p>1 打楽器を使って、フリーズをする。 フリーズとは...音の鳴っている間だけ、音に合わせて身体表現を行う。音が鳴りやんだ時は、動きを止めると共に一切の音をさせないように静止する。音に対する集中力と音に合わせた表現力を培う音楽ゲーム。</p> <p>2 学習課題を知る。</p> <div data-bbox="193 696 836 824" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>つくった音のじゅん番や組み合わせ方をくふうして、音でお話をつなげよう</p> </div> <p>3 グループ毎に音づくりを行う。</p> <p>グループの一人一人がつくった音を聴き合う。 お話のどの部分に合うかを考え、演奏順を決める。</p> <p>音の重なり部分を考える。</p> <p>ペアグループで聴き合う。</p> <p>5 次時は、全部のグループの音をつないで音楽劇としてまとめることを知る。</p>	<p>楽しく学習する雰囲気をつくる。 音の出し方や速度・強弱・長短を変え、様々な音の表現方法を体感させる。</p> <p>一人一人が作り出した音の対比や強弱・速度・リズムをよく聴き合って、音の演奏順や重ね方を工夫するよう助言する。 課題に対して見通しを持てたか。</p> <p>グループは、あらかじめ児童の希望に沿って構成しておく。</p> <p>グループで話し合って決めたことは、グループカードに言葉や図形譜で書かせる。 イメージがわからない時は、お話の言葉を何回も言わせて言葉からの印象をつかませたり、野原での音探しの時のことを想起させる。 速度や強弱を変えたり、組み合わせを変えたりして聴き比べさせる。 友だちの音をよく聴き、グループで協力して活動しているか。 お話に合う音になるように表現を工夫しようとしているか。</p> <p>更に良い表現になるようにアドバイスし合うようにさせる。</p>

(5) 題材の指導計画

